



当市の代表的な特産品といえば十三湖の大和しじみがい思い浮かぶと思います。この日本一美味しいと評判の「十三湖産大和しじみ」は、風土が育んだ特色ある地域産品として、農林水産省の地理的表示(GI)保護制度に登録されるなど、高い信頼を得ており、こういった地域が誇る特産品を広くPRしていきたいと思っています。

### 10月6日 令和元年度 五所川原市総合防災訓練

10月6日、五所川原小学校を主会場とし、五所川原市総合防災訓練を実施しました。昨年は悪天候により中止となりましたが、今年は秋晴れの下、記録的な大雨による浸水害と地震による火災の発生を想定した16項目にわたる訓練により、災害発生時の対応・確認等を行いました。

今年も九州地方を中心とした豪雨による被害、さらには台風第15号での長期間に渡る停電や断水、通信障害など、地域住民の生活に大きな支障が生じており、いついかなる場所で、甚大な被害が発生してもおかしくない状況です。

市としましても、関係機関と緊密に連携を図りながら、防災・減災対策の充実を図ってまいりますので、市民の皆さんにも日頃からの備えをよろしくお願いします。



### 10月8日 青森県・津軽海峡 周遊観光セミナー

10月8日、青森県と北海道南の旅の魅力をセールスする「青森県・津軽海峡周遊観光セミナー」が東京都において開催され、青森県知事や各自治体の首長などが観光関係事業者などに対し、祭りや食をはじめとした多くの見所についてPRしました。

私は、五所川原立佞武多についてPRしたほか、会場では十三湖のしじみを使用したラーメン、しじみ入り塩麻婆豆腐と餡かけチャーハンが振舞われ、食の魅力についても売り込んできました。

立佞武多については、曳き手として参加するにはどうすればよいかなどの質問があったほか、しじみラーメンのコーナーには行列ができるなど、人気の高さを改めて感じました。



### 10月19日 第36回 ごしょがわら産業まつり

当地域の選りすぐりの農林水産物や加工品の販売、地元企業や生活関連商品などを紹介する「ごしょがわら産業まつり」が、10月19日、20日の2日間、つがる克雪ドームにおいて開催されました。

開会前にはスタートを今か今かと待つ行列ができ、開会と同時にドーム内は目当ての品を買い求める方々で賑わいました。お出でいただいた皆さんには、五所川原の魅力をご堪能いただけたものと思います。

ごしょがわら産業まつりは、秋の風物詩として地域に欠かせないものとなっております。今後、更に多くの皆さんに出展したい、そして訪れたいと思っております。進化させていきたいと考えています。



## 五所川原商業高校商業クラブ「赤〜いりんごアップルパイ」完成報告会



「赤〜いりんごアップルパイ」の完成を報告した五所川原商業高校商業クラブの皆さん

五所川原商業高校商業クラブの生徒たちが、市特産の「赤〜いりんご」を使用した「赤〜いりんごアップルパイ」の完成を10月29日、市長に報告しました。

赤〜いりんごアップルパイ作りは、市内の「自然菓子あるる」の阿部芳久オーナーシェフが協力し、同クラブの生徒が5月から週3回ほど交代で同店に通い、パイ作りの方法やリンゴの加工方法などを学びました。

同校の木村梨乃さん(2年生)は「パイの中身を冷凍した状態で、溶けないようにパイ生地に包むのが難しかった。赤〜いりんごの色や香りがしっかり出て、味も見た目も良いパイができた」と話しました。